

思春期からだクイズ

自分のからだについて知っていることは、自分も他人も大切に、健康でいるために必要なこと。クイズで考えてみよう！

Q1 自分に病気がうつれば、すぐに症状が出るからわかる？

風邪のように1・2日のうちに症状がでるものもあれば、そのほか、エイズのように10年くらい症状が出ないものもあります。また、性感染症（性行為でうつる病気）のように数週間症状が出ないものもあります。性感染症やエイズは、すぐに症状が出ない場合が多いので、自分が気づかないうちに病気が進行していることがあります。

[答え：いいえ]

Q2 性感染症を防ぐには、予防注射をうてばよい？

インフルエンザと違って、性感染症には予防注射がありません。性感染症やエイズは、おもに血液と性器から出る体液（精液と膣分泌液）に含まれるウイルスが、相手の性器や、傷口に入ることによって感染します。コンドームを使うと、体液が体のなかに入ることが防げます。唯一の予防方法は、コンドームを正しく使うことです。

[答え：いいえ]

Q3 カワイイ女子やカッコイイ男子は、性感染症にはかかっていない？

性感染症は、体液（おもに血液、精液、膣分泌液）に含まれるウイルスによってうつる病気なので、外見とはまったく関係ありません。たとえ、相手が交際の恋人であっても、性感染症にかかる可能性があります。

[答え：いいえ]

Q4 女子が生理のときにセックスをすると、妊娠しない？

女子のからだは、妊娠しやすい時期と妊娠しにくい時期がありますが、10代のうちはこうしたリズムははっきり決まっていません。避妊をしなければ、生理中でも妊娠をする可能性があります。また、生理中は性感染症にかかりやすいので、正しくコンドームを使うことが大切です。

[答え：いいえ]

Q5 マスターベーションは1日1回まで？

マスターベーションとは、自分で自分の性器を触ることをいいます。男子も女子も、やりすぎたからといってからだに害はありません。ただし、マスターベーションは、必ず一人ですること。人に見せたり、手伝わせたりするのは「性暴力」です。する前には、手を洗うこと。性器が痛くなるまでしないように。また、後始末もきちんとしましょう。イヤなことがあったり、イライラしたときは、マスターベーションで気を紛らわせるのではなく、友だちと話したりからだを動かしたりして、ほかのストレス発散方法を探しましょう。

[答え：いいえ]

Q6 性暴力の被害にあうのは女子だけ？

無理やり性行為をされるのは、女子だけではなく、男子も、のぞんでいないのに性器を見られたり触られたりした経験がある人は少なくありません。こころのケアだけでなくからだのケアも必要になることがありますから、誰か信頼できる大人を見つけて相談しましょう。男子も女子も、被害にあったのは、けっしてその子が悪いわけではありません。

[答え：いいえ]